



# 私たちは柏崎の 「ハッピー・パートナー企業」です

新潟県では、男女が共に働きやすく、仕事と家庭等の両立、女性従業員の育成や登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として支援しています。

柏崎市ホームページ  
ハッピー・パートナー  
企業募集



## 子育てサポート企業として 「プラチナくるみん」の認定を取得

株式会社ブルボン 駅前1丁目3-1

当社は、食の提供と「心と体の健康づくり」をテーマに、持続可能な未来社会の実現に向けた様々な事業活動に取り組んでいます。その中で、仕事と生活と学びの調和により次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支援することが、企業の社会的責任の一つであるとの認識のもと、出産・育児や介護にかかる制度の整備、メンタルヘルス対策やキャリア形成などの支援を行ってまいりました。2017年には次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業として「くるみん」の認定を取得し、より水準の高い取り組みを目指して活動を継続してまいりました。その結果、厚生労働省より2022年8月30日付で「プラチナくるみん」の認定を頂きました。



代表取締役社長  
吉田 康さん

当社支援制度の特徴として、全社員を対象とした育児休業を子どもが3歳に達した日以降最初の4月給と締日まで取得を可能としているほか、ノー残業デーの実施や育児と仕事を両立するための各種制度、看護休暇を小学校3年生終了時まで取得できることなどがあります。また、2022年3月末までの2か年の行動計画では、

- ① 育児休業の取得率を向上させることを目標とし、「出産育児ハンドブック」やガイドライン、掲示物を作成し、対象者の面談実施や段階に応じて社内・社外の制度の情報提供を行った結果、男性社員69%、女性社員97%となり、目標を達成しました。
- ② 男性の育児目的休暇の利用促進や、社内周知を図り、配偶者出産時の負担軽減として、配偶者出産休暇の利用を促進しています。配偶者が出産予定の男性社員に対し、本人、上司、人事労務担当者での面談を行い、育児参加・休業が可能となるように制度を周知し、育児休業・配偶者出産休暇の取得を促す取り組みを実施しました。
- ③ 年次有給休暇の取得計画作成を全社に依頼し、全社目標を掲示、管理職研修等で呼びかけたことで有給取得の目標を達成しました。

今後も、社員がやりがいを持ち、仕事と生活とのバランスをとりながら多様な能力を最大限発揮できる職場環境の整備に継続して取り組んでまいります。また、女性や子育て中の社員を含めすべての社員が長く働き続け、活躍できる企業であり続けることを通して、持続可能な将来社会をデザインしてまいります。



出産育児ハンドブック

## 柏崎の女性史

### 「柏崎日記」にみる 江戸時代の子育て

幕末期、柏崎陣屋詰めとなった桑名藩士渡部勝之助の記した「柏崎日記」は、下級武士の職務や暮らしぶりを伝える資料として知られています。その中には、妻お菊の出産時の記録もあります。

お菊の陣痛が始まると、勝之助は畳をはずしたり藁を持ってきたりと大騒ぎして産床をこしらえ、「取り上げ婆さん」や近所の女性たちがかけつけます。「取り上げ婆さん」は産後毎日来て赤ちゃんを湯につかわせ、おむつも洗ってくれました。

お乳が十分に出るまでは、陣屋内の女性たちが交替で、夜は泊りがけでお乳を飲ませに来てくれます。他人の乳を与える「もらい乳」という習慣があったのです。最初のお乳は異性の子を産んだ女性の乳をもらおうと丈夫に育つ、縁が早いなどといわれ、ほかの家で出産があったとき、お菊に乳をつけてくれと頼まれることもありました。

勝之助はお乳がよく出るようにと、金頭の汁やお餅をお菊にせせせと食べさせました。お菊に頼まれて胞姫さんにも参詣しています。米一合を持って行き、お供えしてある米と引き替え、それを宮の前の水（弁慶の清水）で粥に炊いて食べたところ、少しお乳が出るようになったとか。



「柏崎日記」(複製) 柏崎市立博物館所蔵

また、驚いたことに、産後二十日たった頃、勝之助は赤ちゃんを家の前へ捨ててしまいます。もっとも、あらかじめお向かいさんに拾ってもらおうよう頼んでおき、すぐに迎えに行きます。子どもが病弱であったり、親の厄年に生まれたりすると、捨て子をして拾ってもらう習慣がありました。この年、勝之助は数え42歳の厄年でした。

子どもの成長、節目の祝い、日々の親子の会話などが日記には事細かに記されています。お菊が病弱であったせいもあり、勝之助が家事や子育てに積極的に関わっていたことがうかがえます

(協力/市立博物館 早川 美奈子さん)

## 会員募集!

### かしわざき男女共同参画推進市民会議

女性も男性も生き生きと輝く社会を目指して、一緒に活動して下さる方、支援して下さる方を募集!

#### 活動内容

- ・学習会・研修会(労働、人権、まちづくりなど)
- ・イベント(子育て支援、父親の家事・育児など)
- ・啓発事業(公開講座会など)
- ・広報誌発行(あいむ柏崎/年2回)

年会費/1,000円(個人会員)  
3,000円(法人・団体会員)

#### <問い合わせ先・申込先>

事務局: 柏崎市人権啓発・男女共同参画室  
〒945-8511 柏崎市日石町2番1号  
TEL 0257-20-7605 FAX 0257-22-5904  
Eメール: danjo@city.kashiwazaki.lg.jp

## あとがき

昨年コロナに振り回された1年で、私の職場でも、ワクチン接種をしても感染する事があり、何かと大変な面も多くあったように思います。そして、冬は雪の心配もありました。大雪で道の除雪が追いつかず、仕事に行けない人もいました。私もその中の一人です。雪かきによる死亡事故も多く発生しました。そういう時こそ、皆で共に助け合う事が、大切なのではないのでしょうか。今年は、コロナが収まり自然災害のない、良い年になる事を願うばかりです。

(Y・N)

## こちらからご覧いただけます

— 柏崎市ホームページ —

市民会議  
会員募集



あいむ柏崎  
バックナンバー

